

# 求められる財政再建

## 厳しい財政状況

近年、地方公共団体を取りまく財政環境は、国の三位一体の改革による地方交付税、補助金などの減少や地方税の減収などにより、非常に厳しい状況となっています。

吉野町においても、年々減少する歳入に見合った予算を組んでいます。生活する中でどうしても必要な保険、医療、福祉関係費用の急激な伸びや緊急性の有る大型の事業などの歳出により、貯金にあたる基金を取り崩しながら収支均等を図っています。

今後、大きな景気回復や制度改正がない限り歳入の増加が期待できない中で、限られた財源を有効に使い、最小の費用で最大の効果を上げ住民の皆さんのニーズに合った行政サービスを提供しなければなりません。

## 第二の夕張市にならない為には

また、財政破綻した夕張市のように財政再建団体となった場合、役場全体が国の管理下に置かれる為、町の自立した行政運営ができなくなり、住民の方々の生活に多大な影響を与える事になります。このような事態は絶対に避けなければなりません。その為には、情報の公開や住民の皆さんへの説明責任を果たし、誰もが健やかに安心して暮らせる町づくりを共に考えていかなければならないと考えています。

財政再建は決して福祉や教育の切り捨てではありません。税金の無駄づかいをなくし、できるだけ歳出を減らす事で財源を確保する事ができます。また、次世代を担う子ども達の負担も軽くしなければなりません。

## 七つの提案

これらの目標を達成するため、住民の皆さんとともに次のような施策を実施する必要があると思います。

### 基本的な考え方

財政計画の見直し  
今後十年間の財政の見通しを、人口や現在の歳入歳出規模を基準として算定し、将来の財政状況の変化に対応する。

### 効率的な組織運営

簡素で効率的な組織運営とするため、町が運営する施設や事務事業の民間委託や指定管理者制度の積極的な導入をする。

### 職員数の適正化

行政サービスの低下を招かないよう配慮し、簡素で効率的な行政システムの構築を進め、臨時嘱託職員の活用などにより正規職員の採用を最小限に抑える。

る。

新しい自主財源の確保  
町有財産で使用していない土地や建物について、積極的な貸付や処分を行う。

### 事業の見直し

町が実施している事業について見直しを行い、高齢者や障害者、そしてこれからの吉野町を担う子どもたちが生き生きと生活できるまちづくり。

### 地域自治の推進

町の行財政の現状を的確に伝え、町の施策についても予算と効果等の具体的な説明を行い、住民の意見を町政に反映するシステムを構築する。

住民との協働によるまちづくり。

限りある財源で住民の方々の満足度を高め良質のサービスを提供していくためには、住民の方々と行政がそれぞれの役割を担い、協働社会を構築する。

# 地域医療について

## 医療制度の改革による影響

平成十七年十二月の「医療制度改革大綱」では、医療保険制度の見直しを行うとともに、診療報酬の引き下げや病院の平均在院日数縮減、生活習慣病の予防あるいは小児救急医療における医療連携体制の構築を図ることなどを目指した改革を進めています。

平成十八年度の診療報酬改定は、全体としては3.16%の減ですが、吉野病院のように小児科や産科の入院を扱っていない病院にとっては約10%の落ち込みとなり、今後当分の間は病院経営にとっては厳しい状況が続くと予想されます。

## 医療スタッフの不足

医師の地域的な偏在とともに、地域医療を担う自治体病院における小児科、産科、麻酔科



等の特定診療科の医師不足が深刻化しており、これらの診療科の医師の確保は近々の課題となっています。

## 週産基医療が不十分

奈良県の周産期医療体制は、平成八年から周産期医療情報システムによるネットワークを構築しており、県立医科大学附属病院と県立奈良病院を基幹病院として、近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院、天理よろづ相談所病院をあわせた5病院で周産期患者の受入体制をとって



いますが、県南部の産科については、十八年四月の五條病院、十九年四月からは大淀病院が休止し、取り扱い病院がない状態です。

## 町の厳しい財源状況

町の平成十九年度一般会計の当初予算は、「三位一体の改革」による地方交付税の削減などにより、厳しい状況にあります。

吉野病院事業への一般会計からの繰出金は、平成十九年度予算で二億円ですが、町の厳しい財政状況から、今後も病院への繰出金は抑制的な状況が続くものと考えられ、経営改善のより一層の取り組みが求められています。

## 吉野病院を県南部の拠点病院に

吉野町にとっては、吉野病院

は地域の医療の中核として、なくてはならない存在でありま。しかしながら、近年の制度の改革により公立病院としての存続は非常に厳しいものがあります。また、吉野町の妊婦さんが安心して過こせ、元気な子供が産める環境の整備が望まれます。そのためには、指定管理者制度の導入や近隣病院との連携による経営の見直しが急務です。そして、最終的には、産科、小児科病棟もある県南部地域の拠点病院とならなければなりません。

